

徳大卒業生 就職活動体験記(4)

名前：Ogunseye Olatunde David

(オグンセイェ・オラトゥンデ・デヴィッド)

出身：ナイジェリア

学歴：徳島大学大学院先端技術科学教育部

知的力学システム工学専攻博士前期課程 (2018 年度修了)

会社：藤崎建設株式会社 (徳島)

仕事内容：エンジニア



(1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？：

私はもともと母国ナイジェリアでエンジニアとして働いていました。母国の大学を卒業後、約 5 年間、国際的な土木建設会社 (Intecon Partnership Limited) にてコンサルタントとして仕事をしてきた経験があります。母国では、インフラ設備の設計、施工管理、各種設備の現状調査なども行っていました。ただ、ナイジェリアにおけるインフラ設備の維持・管理は非常にレベルが低く、色々と改善が必要であると感じていました。そこで、「今後は簡便に正確な検査ができる検査方法が必要になるだろう」と考え、コンクリート非破壊検査について深く学ぶために徳島大学大学院先端技術科学教育部に留学しました。

エンジニアの仕事は現場での経験が大切です。日本でエンジニアとして経験を積み、より進んだ技術を学ぶことで、日本とナイジェリアをつなぐエンジニアになりたいと思い、日本での就職を目指しました。

(2) 就活で苦労したこと&成功したポイント：

日本での就活で一番苦労したことは「日本語」です。全く日本語を学んだことがなかったので、本当に苦労しました。ですが、徳島大学入学後半年間、集中的に日本語の勉強をした結果、日本語能力検定試験の中級レベル (N3) に合格しました。これに合格できたことが自分の就職にとっても大きかったと思います。

次に大きく影響したのは、インターンシップで出会った人とのつながりでした。私は、徳島大学在学中に北海道や徳島の会社が実施するインターンシップに参加し、そこで出会った人、知り合い、友人などに声をかけ、色々な会社を紹介してもらいました。マイナビやリクナビなどで会社を探したりしていたのですが、最終的には、知り合いからの紹介で東京と徳島の建設会社 (2 社) の面接を受け、現在勤務している藤崎建設に入社することになりました。

(3) これからの就活に向けたアドバイス：

まず、日本語の勉強を早く始めてください！日本の会社に就職するためには、日本語が絶対必要です。ですので、日本語の勉強をできるだけ早く始めることをおすすめします。そして、勇気を持って、友達や知り合いに相談してみましよう！きっと助けてくれます！